

<調査レポート>

～86.5%の人が「人生はほろにがいもの」と回答～
“ほろにがさ”を楽しめば、人生が楽しくなる!?

20代～50代の男女800人に聞いた、
“ほろにがさ”に関する調査レポート

甘い人生だけではつまらない!
78.8%の人が、人生において、ほろにがい経験も必要と回答
ほろにがい味はR25!?
ほろにがい味好きの人は、甘い味好きの人よりも
人生の満足度が平均3.5点も高い

キリンビール株式会社（社長 磯崎功典）は、ビターリキュールを使用した、果皮のほろにがい味わいを楽しむ「キリンチューハイ ビターズ ほろにがレモンライム／ほろにがグレープフルーツ／スパイシージンジャー」の3種を6月10日（火）より全国発売し、発売からわずか1週間で約42万ケース※1となり、年間販売予定の4割を突破しています。 ※1 250ml×24本換算

この度、20代～50代の男女800人に対し、ほろにがさに関する調査を実施。調査の結果、78.8%の人が、「人生において、ほろにがい経験も必要」と回答。また、ほろにがい味は、「大人の味」であり、平均で24.1歳頃から好きになるという傾向が明らかになりました。

つきましては、調査レポートをご送付させていただきますので、本調査結果を是非ご活用頂けると幸いです。

= 調査結果ダイジェスト =

- 人生の中で記憶に残るのは、“甘い思い出”より“ほろにがい思い出”
- ほろにがい思い出で、最も多いのは“恋愛”について（76.7%）
- 人生は“ほろにがいもの”。甘いだけではつまらない！
⇒「人生は●●●なもの」という問いに、86.5%が「ほろにがいもの」を選択。
⇒67.1%の人が「甘い人生だけでは、つまらない」と回答。
⇒78.8%の人が、人生において、ほろにがい経験も必要と回答
- “ほろにがいイメージ”のタレントの第1位は「坂上忍」さん
⇒次いで、館ひろしさん、有吉弘行さん、タモリさんが続く
- ほろにがい味はR25!？ ほろにがい味を好きになった歳は平均24.1歳。
- ほろにがい味が好きな人は、人生を楽しんでいる傾向に。
⇒甘さ派の人よりも、ほろにがさ派の人の方が、人生の満足度が平均3.5点も高い
⇒72.0%の人が、ほろにがいものを飲むとリラックスできると回答

<<調査概要>>

【調査対象と回収サンプル数】 20歳～59歳 男女 各年代200人ずつ 計800人

【調査地域】 全国

【調査方法】 インターネット調査(調査会社の登録モニター活用)

【調査期間】 2014年6月6日(金)～6月8日(日)

※本リリース内容の掲載にあたりましては、出典として「2014年 キリンビール調べ」という表記をお使い頂きますよう、お願い申し上げます。

60.0%の人が、ほろにがい経験をしたことがアリ 人生の中で記憶に残るのは、“甘い思い出”より“ほろにがい思い出”

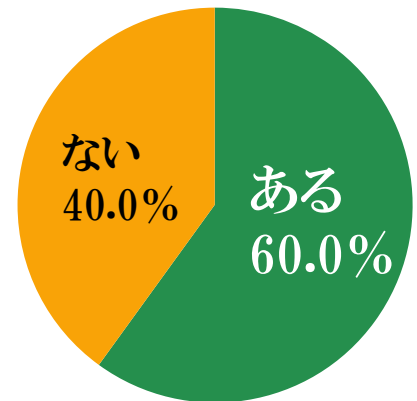
長い人生。甘く楽しい経験だけではなく、失恋や挫折など、ほろにがい経験をしている人も多いのではないのでしょうか。まず、男女800人に、「今までほろにがい経験をしたことがあるか」を聞いたところ、60.0%の人がほろにがい経験をしたことがあると回答しました。

また、ほろにがい経験をした人に、“甘い思い出”と“ほろにがい思い出”、どちらが思い出に残っているかを聞いたところ、72.7%と大半の人が、“ほろにがい思い出”の方が記憶に残っていると回答しました。

その時はつらく“ほろにがい”経験も、時間を経ると、いい思い出になっていることも多いようです。

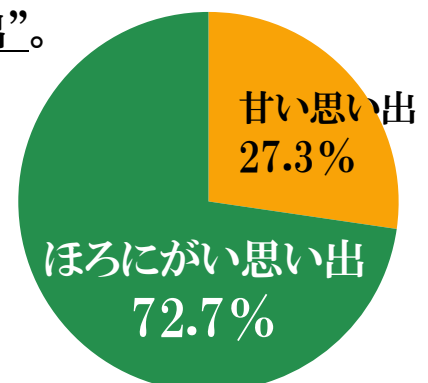
Q1.あなたは今までに“ほろにがい”経験をしたことが
ありますか。

(n=800人、単一回答)



Q2.今までの人生の中で、“甘い思い出”と、“ほろにがい思い出”。
どちらが思い出に残っていますか。

(n=Q1 ほろにがい経験あり 480人、単一回答)

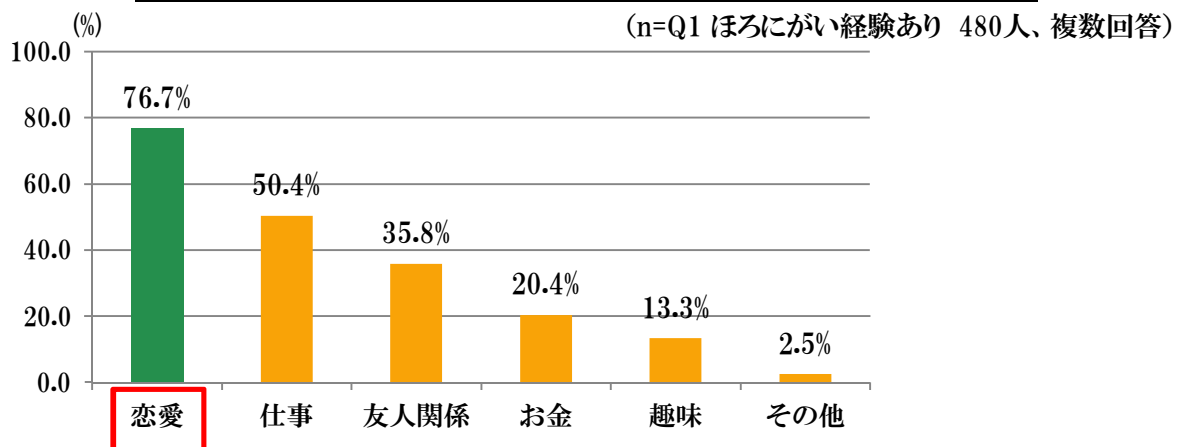


～幼馴染に好きな人をとられた、初恋の人に失恋した・・・～ ほろにがい思い出で、最も多いのは“恋愛について”

次に、ほろにがい経験を持つ480人に、“ほろにがい思い出”について聞きました。

「“ほろにがい思い出”とは何についての思い出か」を聞いたところ、ダントツで多くあがったのが恋愛について(76.7%)でした。「失恋した」、「相手に上手く気持ちが伝えられなかった」など、恋愛は一筋縄にいかないことも多く、ほろにがい経験をした人が多いようです。

Q3.あなたの人生のなかで、“ほろにがい思い出”は、何についての思い出ですか。



Q4.あなたの人生のなかで、最も記憶に残る“ほろにがい思い出”についてのエピソードをお教えてください。

(n=Q1 ほろにがい経験あり 480人、自由回答)

<恋愛の思い出>

- ・淡い恋心を抱いた「初恋」が粉砕したとき。(男性、37歳)
- ・片思いだった女の子が自分に気があることを、ずっと後になって知った。(男性、30歳)
- ・初恋の人と再会したときに、忘れられていた。(男性、40歳)
- ・好きな人に甘えたいのに強がってしまった。(女性、39歳)
- ・幼馴染に好きな人をとられたこと。しかも私に隠れてこそこそ付き合ってた。(女性、36歳)
- ・好きな人に、片想いの相談されたとき。結局好きと言えずに真剣に相談にのってあげた。(女性、31歳)

<その他の思い出>

- ・娘に彼氏が出来たとき。ほろ苦い気持ちになり、ほろ苦い酒を飲みたくなった。(男性、50歳)
- ・いいアイデアを、同僚に先に言われてしまったとき。(男性 53歳)
- ・仲の良かった友人とケンカしたまま卒業してしまったこと。(女性、48歳)

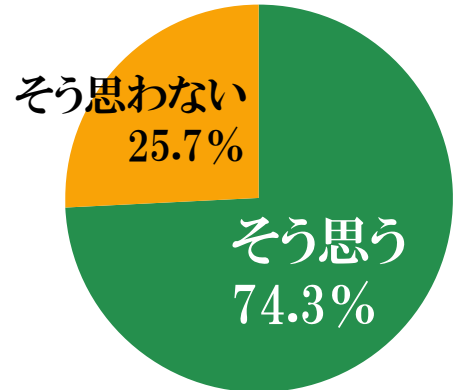
人生“甘い”だけでは物足りない！ ほろにがい経験は、人を成長させる！

その時は、つらい経験ですが、74.3%の人が、「ほろにがい経験は人を成長させる」と回答。決してほろにがい経験は無駄ではなく、その人の成長の糧となっているようです。

また、67.1%の人が「甘い人生だけではつまらない」と回答。さらに78.8%の人が「人生において、ほろにがい経験も必要である」と回答しました。

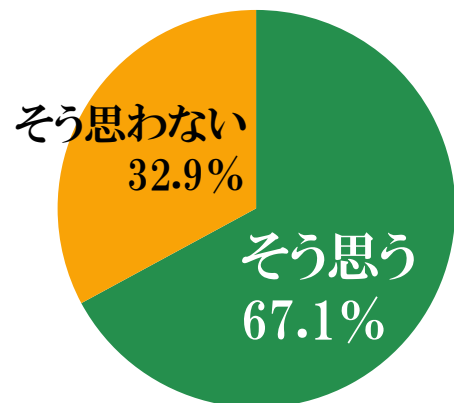
Q5.ほろにがい経験は、人を成長させると思いますか。

(n=800人、単一回答)



Q6.甘い人生だけでは、つまらないと思いますか。

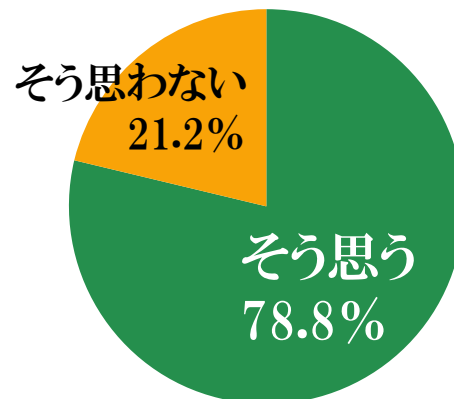
(n=800人、単一回答)



Q7.人生において、ほろにがい経験も必要

だと思いませんか。

(n=800人、単一回答)



とくに2014年は、増税でお財布事情も“甘くない” ほろにがいイメージのタレントの1位は“坂上忍”さん

また、男女800人の86.5%の人が「人生はほろにがいもの」であると回答。甘いだけの人生ではつまらなく、“ほろにがい経験”がよい刺激となるのが、人生なのかもしれません。

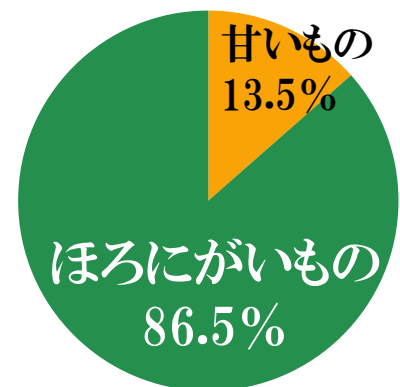
さらに、消費税がアップした2014年。増税の影響で、お財布事情が去年に比べて甘くないと回答した人は73.1%にもものぼりました。2014年、金銭面では特に“ほろにがい”年となりそうです。

ほろにがいイメージが当てはまるタレント/著名人を聞いたところ、坂上忍さんが最も多くあがりました。次いで、館ひろしさん、有吉弘行さん、タモリさんなど、“甘いだけ”でない、深みのあるイメージの方々が票を集めました。

Q8. 「人生は、●●●なもの」と、人生を表現するとしたら、

●●●に当てはまるのはどちらかという、どちらだと思いますか。

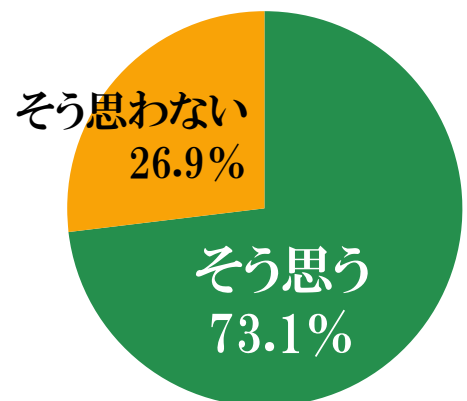
(n=800人、単一回答)



Q9. 増税の影響で、あなたのお財布事情は、

昨年と比べ、甘くないと思いますか。

(n=800人、単一回答)



Q10. “ほろにがい”というイメージが当てはまるタレント/著名人を教えてください。

(n=800人、自由回答)

1位 坂上忍さん (21票)

2位 館ひろしさん、有吉弘行さん (20票)

3位 タモリさん (16票)

ほろにがい味はR25!?

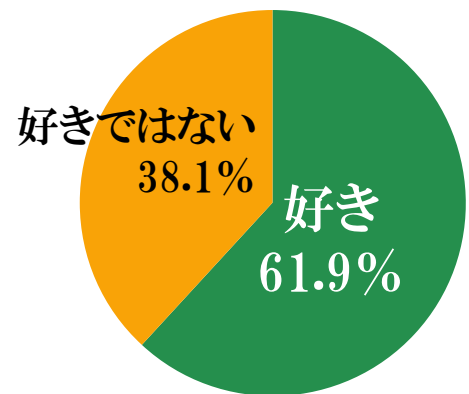
ほろにがい味を好きになった歳は平均24.1歳。

次に味覚としての“ほろにがさ”について調査を行ったところ、61.9%と過半数の人が「ほろにがい味が好き」と回答。果皮の苦さなどが人気の昨今、ほろにがい味は現代人の好みの味なのかもしれません。

一方、ほろにがい味が好きな人の79.6%は子供のころは、「ほろにがい味が好きではなかった」と回答。平均24.1歳ころから、ほろにがい味が好きになる傾向があることが明らかになりました。さらに、89.0%の人が、「ほろにがい味は大人の味だと思う」と回答しました。

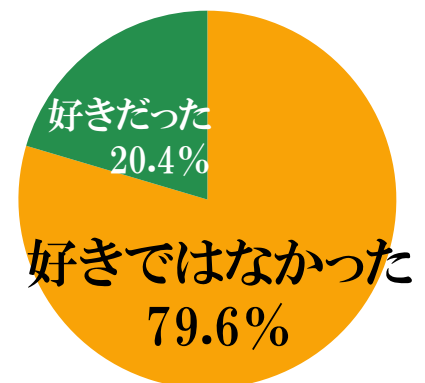
Q11. ほろにがい味は好きですか。

(n=800人、単一回答)



Q12. 子供のころから、ほろにがい味は好きでしたか。

(n=Q11 ほろにがい味好き495人、単一回答)



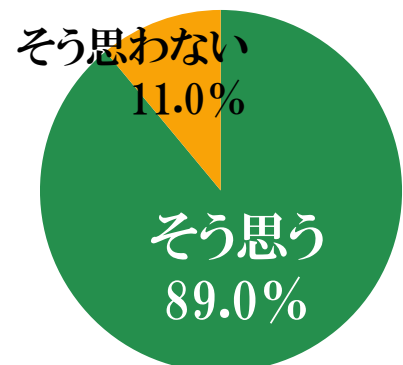
Q13. 何歳のころから、ほろにがい味が好きになりましたか。

(n=Q12 子供のころはほろにがい味が好きではなかった人 394人、単一回答)

平均：24.1歳

Q14. ほろにがい味は、大人の味だと思いますか。

(n=800人、単一回答)



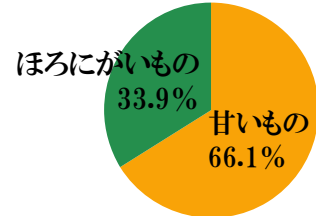
ほろにがい味好きの人は、人生を楽しんでいる傾向に。 ほろにがいものにはリラックス効果アリ!?

ほろにがいもの好きの“ほろにがさ派”と、甘いもの好きの“甘さ派”で比較したとき、ほろにがさ派の人の方が、甘さ派の人よりも、人生の満足度が平均3.5点高いことが分かりました。ほろにがい味を楽しんでいる人は、人生も楽しんでいるようです。

また、“ほろにがさ派”の人 271人に調査をしたところ、72.0%の人が「ほろにがいものを飲むと、リラックスできる」と回答。また「疲れた時にほろにがいものが欲しくなる」と回答したことから、ほろにがい味には、リラックス効果もありそうです。

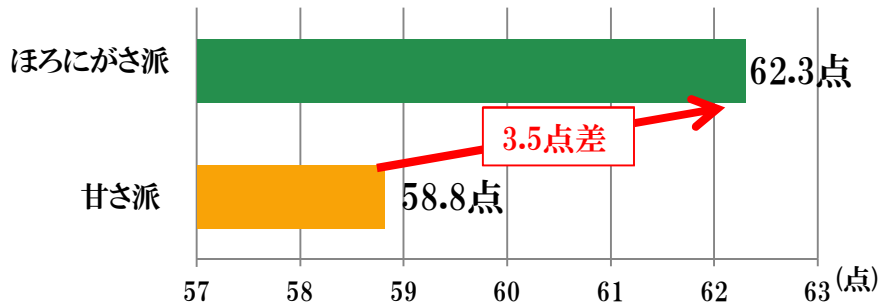
★甘いものとほろにがいもの、どちらが好きですか。

(n=800人、単一回答)



Q15.あなたの人生の満足度を100点満点で表すと何点ですか。

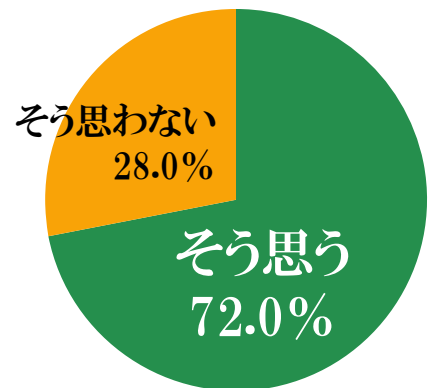
(n=★ほろにがさ派 271人/甘さ派 529人、自由回答)



Q16.ほろにがいものを飲むと、リラックスできる

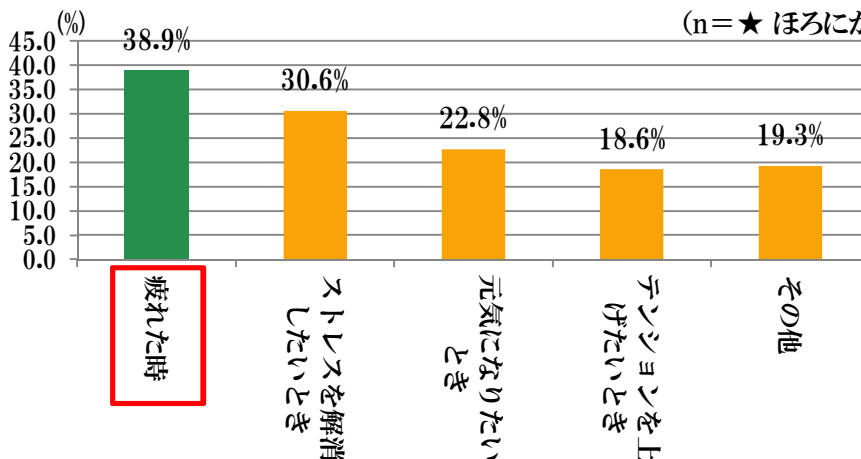
ような気がしますか。

(n=★ほろにがさ派 271人、単一回答)



Q17.どんな時にほろにがいものが欲しくなりますか。

(n=★ほろにがさ派 271人、複数回答)



‘大人の美味しさ劇場’ 名脇役・・・「苦味」 (株式会社 味香り戦略研究所)

「苦味」を弊社では数年前より‘味トレンドの名脇役’として注目してきた。

その理由のひとつとして、現在「コク」が流行しているが、味科学的に言う「コクの正体」の1つに、「後味の旨みに適度な苦味が合わさった複合味」がある。実際、味覚分析において「コクを訴求する」カレールーやプレミアム系アイスクリームは、そうでない普通の同類商品と比べ、相対的に苦味が高い数値を示す。

もうひとつが、「味の原点回帰/本物志向」における苦味の役割である。ビール類の苦味回帰や本格派の柑橘系飲料のヒットがあるが、どちらもホップや柑橘皮の自然な苦味が効いている。

そんな名脇役の苦味だが、本来的には生物が忌避する味である。そのため、幼児は本能的に嫌う傾向にあるが、大人になると変わる。成長過程で様々な食経験や味覚体験を重ねるうちに「苦味の魅力」に目覚めていく。コーヒーやフキノトウ、ホヤといった「大人の美味しさ」を知るのだ。

コクも本物志向も、苦味が脇役にまわった「大人の美味しさ劇場」のワンシーンである。良いドラマは脇役がよいのと同じように、味の世界でも苦味のような脇役が重要なのである。

寄稿：株式会社 味香り戦略研究所

食品の「味」を数値化する手法を用いて「味」をわかりやすく表現し、それを用いたコンテンツ、マーケティングおよびコンサルティングを提供する会社。味覚センサー等を用い、甘味・苦味・酸味・塩味・旨味・渋味などを測定・数値化することで「味の世界」をわかりやすく伝えている。

【ご参考】商品情報

～果皮のほろにがい味わいを楽しむ、大人の“ビターチューハイ”～

キリンチューハイ ビターズ

ほろにがレモンライム / ほろにがグレープフルーツ / スパイシージンジャー

キリンビール株式会社は6月10日(火)に「キリンチューハイ ビターズ」シリーズを発売。販売数量が、発売からわずか1週間で約42万ケース*1となり、年間販売予定の4割を突破しました。

※1 250ml×24本換算。

近年、RTD*2市場はお客様の嗜好の多様化などにより拡大傾向が続いています。当社は、伸長しているRTD市場において、“ビター”“ほろにがい”という今までにない新しい味覚軸に着目し、“ビターチューハイ”という新カテゴリーを創造するべく、「キリンチューハイ ビターズ」の開発に至りました。

「キリンチューハイ ビターズ」は、“果皮のほろにがい味わいを楽しむ、大人のビターチューハイ”をコンセプトに、果皮やハーブから抽出した“ビターリキュール”を使用しており、ほろにがい味わいが特長の商品です。また、甘くない“ビターチューハイ”のため、食事とも楽しめる味覚に仕上がっており、果皮のほろにがさで終わる後ギレのよさと心地よい余韻で、“一杯目からいける、ほろにがいチューハイ”として好評をいただいています。

※2 Ready to Drinkの略。栓を開けてそのまま飲める低アルコール飲料。

商品概要

- 商品名/アルコール分 「キリンチューハイ ビターズ ほろにがレモンライム」8%
「同 ほろにがグレープフルーツ」8%
「同 スパイシージンジャー」8%
- 発売地域 全国
- 発売日 2014年6月10日(火)
- 容量/容器 350ml缶、500ml缶
- 価格 オープン価格

